

令和6年度 第1回豊橋市図書館協議会 会議要録

日時	令和6年6月12日（水） 10:30~12:00
場所	豊橋市中央図書館 第2、3会議室
委員	出席定数12名 10名出席
事務局	6名
議事	議題 (1) 中央図書館リニューアル基本計画策定について 報告事項 (1) 令和5年度図書館利用状況（速報値） (2) 令和6年度豊橋市図書館資料収集方針 (3) 令和6年度主要事業
配付資料	議題 (1) 中央図書館リニューアル基本計画策定について 報告事項 (1) 令和5年度図書館利用状況（速報値） (2) 令和6年度豊橋市図書館資料収集方針 (3) 令和6年度主要事業

<議事概要>

議題

(1) 中央図書館リニューアル基本計画策定について(非公開)

事務局より、配付資料に基づき説明。各委員より以下の意見・質問があった。

<質疑応答>

【非公開部分】

報告事項

(1) 令和5年度図書館利用状況（速報値）

事務局より、配付資料に基づき説明。委員より以下の意見があった。

<意見>

【委員】

貸出人数は70万人、貸出冊数が200万冊というのがコンスタントになってきているという印象である。

(2) 令和6年度豊橋市図書館資料収集方針

事務局より、配付資料に基づき説明。委員より以下の意見・質問があった。

<質疑応答>

【委員】

小学生までは読書し、中学生からは読書から離れ、大人になったら、また読書するというケースが多いと思う。中高生にとっての憧れの場所であるまちなか図書館に、本を整えていくと接点が作りやすいと思う。実験的なことをして中高生の世代の読書推進につながるという。

（事務局）

まちなか図書館は中高生の利用が多いが、仲間内での利用に留まっている印象がある。次の課題として、中高生が先生でも親でもない大人と交流できる場になったり、読書に繋がるような利用を促していけるようにしていきたいと考えている。大学生を巻き込むとうまくいった例もあり、愛知大学のミステリー同好会が行ったリレー小説講座では、若い世代を含む多様な世代の参加があった。書くことや読むことに対して意外と離れていないと思ったので、今後もうまい仕掛けを考えていきたい。

【委員】

郷土資料について、図書館と美術博物館・二川宿本陣資料館とのすみ分けを教えてほしい。

（事務局）

基本的に本について図書館で所蔵、本以外の歴史的な資料は美術博物館・二川宿本陣資

料館で所蔵するようすみ分けている。特に、豊橋市図書館の母体は、羽田八幡宮文庫であるので、羽田八幡宮文庫に関わるものは重点的に収集している。

(3) 令和6年度主要事業

事務局より、配付資料に基づき説明。各委員より、意見・質問なし。
